広報
社会福祉法人清豊福祉会
育ちゆく子どもの輝きを…その翼にのせて

セバストガチョウ号

Gosho Nursery And Children's Recreation Center

先月の子どもたち

第３回 発表会

No.201
３月号
2020

こども園便り　御所・風の子こども園

いっぱい笑って…

十月に種を植えた桜島大根の収穫が終わりました。「うんとこしょ、どっこいしょ」五歳児が一人で抜くにはとても力が必要で、一番大きいもので7.9kgにもなりました。自分で育てた桜島大根は家に持ち帰り、こども園でも美味しく調理して食べました。鹿児島の特産品である『桜島大根作り』にチャレンジできたことは、素敵な思い出になりました。

（以上、主幹教諭　下窪）

給食だより

食育体験　焼きおにぎり（二月一四日・二十日）

敷いたラップにお米を入れて、三角や丸の形におにぎりを握りました。炭火で焼いたおにぎりからは醤油の香ばしい香りがして、「早く食べたい！」と声が上がっていました。焼きたての焼きおにぎりを美味しそうに頬張っていました。

桜島大根クッキング（二月七日）

新入職員紹介

川崎　美香（調理員）
みんなと楽しく、元気いっぱいで頑張りたいと思います。どうぞ、よろしくお願いします。

梶原　キリエ（調理員）
毎日、元気いっぱい過ごしている子どもたちに、美味しい給食を提供できるように努めていきます。

（以上、栄養士　和田）

健康だより

保健指導

『清潔』をテーマに年六回実施しました。子どもたちが清潔にする意味を理解できるように、歯磨きや手洗いなどの実践も取り入れました。子どもたちから「今日は何をするの？」、「きれいに手を洗ったよ。」と声をかけてもらうこともあります。少しずつでも、自ら体を清潔にするようになって貰えれば幸いです。

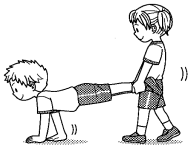
安全だより

遊びながら体づくりをしよう

子どもは頭が重いので転倒しやすいと言われています。転んだときに手が出ないまま顔から倒れて、顔や頭を怪我をしてしまうことがあります。顔や頭の怪我を防ぐためには、手が前に出ること、腕で自分の体を支える筋力をつけることが必要になります。楽しみながら体を動かし、子ども自身が身を守る力をつけましょう。

親子でチャレンジ！　遊びながらいろいろな動きを身につけて体づくりをしよう！

体を 支える 力づくり



２人１組で「手押し車」をします。腹筋や背筋、腕力を使う運動です。前にすすむ以外に後ずさりもするとよいでしょう。

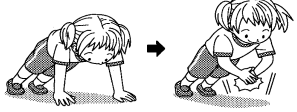
瞬間に 動く 動きづくり

かえるのまねをして、ぴょんぴょん跳びます（かえる跳び）。両手を前についてジャンプする運動です。瞬発力がつきます。

手足が すぐに 使える 体づくり

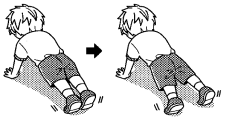
四つ足（四つ這い）で歩きます（犬歩き）。手や足が、すぐに使える体づくりにつながります。

両手の 素早い 動きや 力づくり



腕立てをしているところから、腕でジャンプをして、手をたたきます（手たたき腕ジャンプ）。とっさに手をついて体を守る力をつけるのに役立ちます。

リズム感と スタミナづくり



腕立てをして、足を開閉します。手をたたく合図に合わせて、足を開閉してみましょう（足の開閉運動）。両腕や背腹の筋力を高めてくれます。

楽しみながら、親子で体を動かしていくことは、子ども自身が身を守る力をつけることにもつながります。
いろいろな運動遊びを一緒に体験してみてください。

（以上、看護師　兼廣）

っぴょうかい

BAIYANSE ～

な衣装に身を包み、それぞれがこども園で
。1年を通して、成長したお子様の姿を感
（広報グループ）

歌を歌ったり、組体操でバランスを崩すことなくできたり、楽器の演奏を上手にできたりと成長ぶりを実感し、とても感動しました。　（いるか　女児）

お弁当バスもかわいい衣装に乗り物に乗っている姿も日常の姿が見れておもしろかったです。　（こあら　女児）

元気に楽しそうに歌ったり、踊ったりしている姿を見ることができて嬉しいでした。
（うさぎ　女児）

発表会、とても楽しかったです。成長が見れました。
（ひよこ　男児）

全ての発表に一生懸命頑張っている姿を見て、とってもお兄ちゃんになったなと感じました。
（くじら　男児）

泣きもせずに楽しそうに踊っていて私たちも嬉しかったです。運動会では泣いていたので、成長を感じました。　（ぱんだ　女児）

お茶発表の最後にお茶を飲むところがかわいかったです。
（しゃち　女児）

お家で練習の様子をあまり話してくれなかったので心配でしたが、本番とても上手に踊っていて嬉しかったです。　（りす　女児）

第３回　は

ゆめ～ KIB

令和になって初めての発表会。色々
取り組んできたことを発表しました。
じられたのではないでしょうか？

児童クラブ便り　児童クラブ未来

今年度も残すところ一ヶ月。子どもたちは学習・生活ともに仕上げの時期ということを自覚し、新年度に向けてとても意欲的です。こま回しや竹馬、跳び箱などの遊びも目標を決めてチャレンジしています。みんなで仲良く、楽しい思い出を作っていきたいと思います。

竹馬

跳び箱

フラフープ

学習

言葉で育つ

今年度児童クラブでは『言葉』に着目し、一年間子どもたちと一緒に考え、努力してきました。子どもたちを取り巻く環境が大きく変わり、最近、良くも悪くもいろいろなことが『個』に特化されてきたように感じます。もちろん個性は大事ですし、子どもたち一人ひとりが大切にされなければならないのは言うまでもありません。ただ『個』を尊重するあまり、他人への思いやりや気配りが軽んじられ、自分さえ良ければという風潮が蔓延しているようにも感じられます。

しかし、子どもは人の中で育つもの。『個』も人と人との関わりの中でこそ磨かれ、より成長するものです。コミュニケーションツールとしての『言葉』は何より大事にされなければなりません。自分の気持ちや考えを伝えるのも、誰かの気持ちを慮り理解するのも、全ての思考の基本は『言葉』だからです。そんなことを子どもたちと共に考え、大事にしてきた一年だったように思います。

子どもたちの『言葉』の森を豊かにするために、読書や読み聞かせを大切にし、私たち大人が今以上に、日頃の『言葉』を大切にしていきたいものです。

（以上、クラブ長　高崎）

ひな祭りを楽しもう！

学童新聞

三月三日はひな祭り。児童クラブでもひな人形を飾りました。七段あると、とてもにぎやかで、今年は飾り方も学びました。

○おり紙

おり紙のひな人形もかわいい♡

○顔出しパネルを作ろう！

こども園のみんなも写真をとりに来てね。

○ひな祭りムース

〈材料〉

- マシュマロ　60g
- アセロパウダー　大1（イチゴパウダー）
- まっ茶パウダー　大1
- 牛乳　150cc

〈作り方〉

- マシュマロと牛乳を弱火であたためてとかす。
- 三等分に分けて、各パウダーをまぜて白・ピンク・緑色にする。
- 容器に緑色を入れて冷やす。
- 次に白を入れて固め、最後にピンクを入れて固める。

クイズ　これな〜に？

この写真はプレイルームの中にある物の一部です。わかるかな？答えは四月号でお楽しみに。

※二月号の答え…おもちゃ箱のとって

記者　福田一叶　前野希佳

自己評価チェック

親コラム

御所こども園・風の子こども園では、自己の資質向上に繋げることを目的に、年４回『幼保連携認定こども園教育･保育要領』に基づいて保育を振り返り､自己評価チェックを行っています。

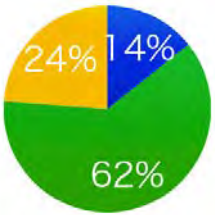
理解度について

- 『十分できている』
- 『できている』
- 『少しできている』
- 『少しできていない』
- 『全くできていない」の５段階で評価しました。

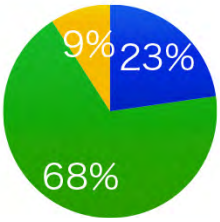
～『満１歳以上満３歳未満の園児の保育に関するねらい及び内容について』～

Q1．基本的事項について

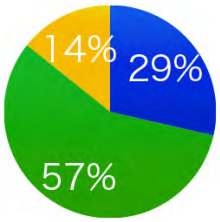
満１歳以上満３歳未満では、『園児の生活の安定を図りながら、自分でしようとする気持ちを尊重し、温かく見守るとともに、愛情豊かに、応答的に関わることが必要である』とされています。満３歳以上と同様に『健康』『人間関係』『環境』『言葉』『表現』の５領域で示していますが、満３歳以上の５領域がそのまま適用されるわけではありません。満３歳以上の子に比べて、身体的な関わりを伴う養護的な場面が多いですが、子どもの経験していることに注目すると､教育的な側面が見えてきます。この時期の５領域は、満３歳以上の生活へと緩やかに繋がっていくのです。



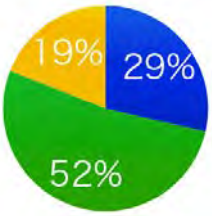
Q2．健康について



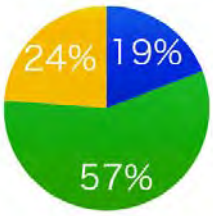
Q3．人間関係について



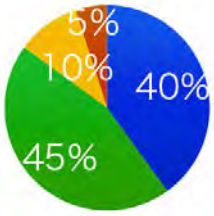
Q4．環境について



Q5．言葉について



Q6．表現について



今後の方向性

今回学んだ『満１歳以上満３歳未満の園児の保育に関するねらい及び内容について』を踏まえて、保育者は“子どもの意欲や努力を認めること”“温かく見守りながら、安心感を与えること”を大切にし、子どもの自己肯定感など様々な力を身に付けていけるように促していきます。

（以上、保育評価グループ）

Gosho Baby News

このページは、御所風の子こども園や御所季の子保育園の０，１歳児の子どもたちの様子やお知らせ、そして子育てに関する様々な情報をお届けするコーナーです！

やりとりから感じる気持ちの成長

２歳を過ぎ、ぱんだ組の子どもたちからは友だちや保育者とのやりとりの中で、日々成長が感じられます。「先生なにしてるの？」「はい、どうぞ」などと日増しにお話も上手になっています。ここでは、そんな子どもたちの成長を心温まるエピソードと共にご紹介します。

「ありがとう」

「○○して！」という言葉に対して援助をすると、しっかり「ありがとう」と言えるようになってきました。お茶を注いだから、エプロンを付けたから、些細なことにも一つひとつお礼を言ってくれる姿に大人も学ぶ姿があります。

「大丈夫？」

園庭遊びで転んでしまった男の子。すると「大丈夫かー!?」と大急ぎでやってきて助け起こし砂を払ってくれるお友だちが…。
子どもにとって転んだことは大事件 !! 自分が転んだら痛いから、お友だちも心配になるんですね。

新しい春に向けて

生活する場が変わることへの子どもの気持ちはそれぞれです。新しいクラスになると、興味津々の子もいれば、落ち着かない様子を見せる子もいます。不安な気持ちに共感し、頑張っていることを認める環境を作ることが大切です。日々の「頑張ったね」「偉かったね」の声掛けが、子どもたちが安心して毎日を過ごせる自信にも繋がります。

（以上、保育教諭　川東）

保育園だより　御所季の子保育園

先月行われた発表会では、子どもたちの成長にたくさんの感動をもらいました。ご参加、ご協力をありがとうございました。本年度もあと少しとなり、卒園や進級の時期が近くにつれ、期待や不安で胸がいっぱいになります。これからも子どもたちがのびのびと元気に過ごせるように職員一同頑張っていきます。

鬼は～外、福は～内　（二月三日）

各クラスで製作した鬼のお面を被り、いざ出陣。泣き虫鬼、いたずら鬼、怒りんぼ鬼にそれぞれの思いを込めて豆を投げ、退治しました。

健康だより

耳を大切にしよう

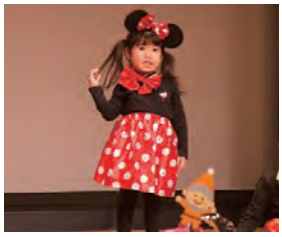
耳は『音を聞くこと』『身体のバランスをとること』の二つの働きをしています。他の器官に比べて病気になっても気づくことが難しいため、日頃から気をつけましょう。

（以上、主任　永田）

★はっぴょうかい★

『第三回発表会』

今まで活動してきたことを通して、元気に発表することができました。



給食だより

食育活動「キャベツちぎり」（二月十二日）

二歳児クラスでキャベツちぎりをした後、野菜炒めを作りました。キャベツの葉を持ち、食べやすいように小さくちぎりました。子どもたちは「見て」「出来た」と保育者に知らせながら上手にちぎっていました。ホットプレートでの野菜炒めも美味しく出来ました。

クッキング「まぜまぜサラダ作り」（二月十三日）

一歳児クラスでレタスをちぎり、サラダ作りをしました。初めはレタスに触ることに抵抗のあった子どもも、お友だちがちぎる様子を見て真似る姿が見られました。

いつも野菜を食べない子どもも、自分たちで作ったサラダは特別なようでいつもより食べていました。

（以上、管理栄養士　坂元）

ホッと！スナップコーナー

G・K・M編集局

Gは御所のG。Kは風の子のK。Mは季の子、未来のM。ここでは、各施設に関する様々な情報をお送りいたします。

父母会便り

保護者の皆様、いつも父母会活動へのご理解とご協力いただきありがとうございます。今年度も残り少なくなりました。皆様のおかげで、来年度の新役員を引き受けてくださる方も全員決まりました。園に通う子どもたちがより過ごしやすい環境を作るために、今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

3月14日(土)、13時より父母会を開催いたします。できるだけ多くのご参加をお待ちしております。役員になられた方で、仕事や用事などで役員会に出られないときもあると思いますが、各クラス役員2人でLINEの情報交換やお互いに協力しながら、役員会やを各行事を行なっていけますので、安心してください。

〈父母会の主な活動内容〉

■夏祭り
出店を行いますので、店番を募集したり、出店の準備・店番・後片付けを行います。

■運動会
父母会競技の種目・参加賞の検討、当日の招集・参加賞の配布を行います。

■イルミネーション点灯式
イルミネーションの飾り付け・点灯式・片付けを行います。

■谷山ふるさと祭り（4・5歳児）
エイサーの旗持ちを行います。

■役員会（年5回）
行事の約1～2ヶ月前の土曜日の夕方、約1時間話し合いを行います。役員会の間は子どもを預かっていただけます。

■お土産の選定
各行事の際、父母会からのお土産としてカタログを見て選定していただきます。

■親睦会
親睦会を行うかのアンケートを実施し、実施する場合は企画・運営などを行います。

（以上、父母会会長　大久保）

編集後記

三月のことを、古い言葉で『弥生』と言います。これは、『草木がすくすくと生い茂る月』つまり春の始まりを意味しています。春になると、様々な花が咲いたり、その花に鳥や昆虫などがやってきたりします。寒さも和らいで、外遊びも楽しくなりますね。

花・鳥・虫、色々なものが元気になる春。みなさんにとって素敵な季節になるように今から元気な体作りを頑張りましょう。

（小平田）

セバストガチョウ号
2019年3月1日発行
〒891-0116　鹿児島市上福元町5682番地　御所こども園　TEL:099- 268 - 5122 e-mail:info-gosho@seihoufukushikai.jp　HP:https://seihoufukushikai.jp
発行・編集人／社会福祉法人清豊福祉会広報グループ　　印刷／御所こども園　1月21日～2月22日の記事を掲載しています。